

現在は2022年6月27日です。2月から始まったウクライナへのロシアの攻撃以来、館長はとてもふさぎ込んでいて、授業はいつものようにとても頑張っているのですが、世界の平和と環境問題についての「希望」を語り続けている館長にとっては、実に嘆かわしい事であり、一方では「怒りと絶望のため」、他方では「より正確にウクライナにおけるロシアとアメリカの戦争の真実を理解するためのデータの収集と学習をするため」に、かなりの時間ASSETSを出すことが遅れてしまい、大申し訳なく思っています。しかし現在6月27日時点で事態の全体像が把握できましたので、今後は回数をかけて、これまで予定しているASSETSに、現在の戦争の実体をASSETSに追加しながら載せていきます。現在のウクライナでの戦争、これは館長もエマニュエル・トッド氏と全く同じように、「第三次世界大戦はもう始まっている」と考えており、今後の世界は大きく変動する可能性があると考えています。全体の展望につきましては志成館のASSETSの36-11付けのNEWSWEEKの記事からの各種の記述が正しかったがわかりましたので、安心してASSETSを読んでください。但し、あなたがテレビ田新聞で読む記事とはかなり異なっています。しかし今後志成館のASSETSで述べる内容と同じ記事がどんどん増えてくると思います。今回のASSETSは情けない「日本の劣化と退廃その③」です。

部落ネット公開は違法

「プライバシーを侵害」 東京地裁判決

全篇の被差別部落リストのネット公開を禁ずる判決を助長するとして、被差別部落出身者ら4人(川崎市)の訴訟(一審)判決。東京地裁は、部落解放同盟(以下「解放同盟」)が、部落解放同盟の機関紙「部落解放」に掲載された部落リストのネット公開を禁ずる判決を出した。判決は、部落解放同盟が、部落解放に掲載された部落リストのネット公開を禁ずる判決を出した。判決は、部落解放同盟が、部落解放に掲載された部落リストのネット公開を禁ずる判決を出した。

出版社に賠償命令

地名リストの公表差し止めを認め、東京地裁は、出版社に賠償命令を出した。判決は、出版社が、部落解放に掲載された部落リストのネット公開を禁ずる判決を出した。

立法による差別救済を

判決に加わらなかった部落解放同盟は、立法による差別救済を求め、部落解放に掲載された部落リストのネット公開を禁ずる判決を出した。

【左】恐ろしいことに、今でもまだ「**部落差別をする愚かな人たちがいる**」という記事です。部落問題は、**土農工商という身分差別政策をとる徳川幕府による「人権弾圧政策」であり「人間差別の悪意に満ちた政策」**なのです。幕府は農民からよりたくさん**の租税=年貢米を集めるため、幕府の政策に対して農民が反抗しないように、「エタ、非人というもっとひどい人たち(=いわゆる現在で言う部落民)とされる人たちがいて、その人たちは農民よりもっとひどい生活をしているのですから我慢して生きていきなさい」という政策**を取りました。その犠牲者が**穢多(えた)非人**と幕府が呼んだ人たちで、**実態は第五身分になります。しかし、この人たちには人間的な欠陥や人種差別が必要な理由は全くありません。**

志成館では ①もし長篠の戦いで武田軍が勝っていたら、負けた徳川一族が穢多(えた)非人になり、雲散霧消して第五身分になったかもしれない武田の武士たちが第一身分になったとしてもおかしくないという事 ②そもそも世界中の歴史を学ぶ限りにおいて、すべての身分にはその時代での力関係を示すだけであり、今もそれを認める正当性など全くなく、日本の皇室もイギリスの王室も、かつての戦に勝ったことが今でも生きていただけであるという教え方をしており、すべての身分位は正当性がないという教え方をしています。まさしく誇り高い人権教育です。

したがって志成館の立場からは、**学校その他の場所で「差別してはいけない」という教え方は間違っており、「差別する根拠が何もない」と教えるべきであるということになります。**確かに館長が子供のころには、周囲に部落差別をする大人たちがたくさんいました。子供の時から人相感覚にうさかった森は、そのような差別をする大人たちをあからさまに批判してきました。その当時から50年以上も経っているのに、まだそんな愚かな人間、歴史や真実を学ぼうとしない人間がいることにあきれ果てます。

このような人たちは、同時に朝鮮半島の人たちを差別し、中国の人たちを馬鹿にするのです。そして逆に欧米人に対しては恐れや敬意をもって接するのですから許せません。人間はみな平等であるというフランス人権宣言の内容や日本国憲法14条がまだ日本に根付いていないことに悲しみを感ずります。

元最高裁判事 異例の意見書

日本司法「嘆かわしい」伝統

17年安倍内閣 国会召集先送りは「違憲」

憲法に基づき臨時国会の召集に要する100日近くは経たなかったが、明確に違憲。2017年当時の安倍内閣の責任を追及しようと、野田議員が全国で力所を起こした訴訟の控訴審で、浜田邦夫元最高裁判事(85)が異例の意見書を作成し、原告側が裁判所に提出したことが分かった。

浜田氏は昨年10月、01/06年に最高裁判事を務めた。党内閣も野党による臨時国会の召集を拒み続け、ようやく来月4日の開会を決定したばかり。01/06に「放置」したことで、浜田氏は取材に「17年と同一様に憲法を無視した対応であり、違憲だ」と語った。

憲法53条は、衆議院が参議院の議員の4分の1以上が臨時国会を召集した場合は、内閣は召集を決定しなければならぬと定めている。少数派の意見が国会に反映される趣旨を踏まえ、期限の定めはない。加藤勝信官房長官は今日1日の記者会見で「内閣に変わらぬ」と述べた。

意見書は「憲法に政治的な裁量はない」と述べ、「要求から開会までの合理的期間は「長くても30日以内」が原則」と、天変地異が起きた場合でも「最長で15日以内」に召集を要するとしている。

野田氏は17年3月、衆議院が臨時国会を召集しなかったとして、憲法を無視した対応であり、違憲だ」と語った。

憲法53条は、衆議院が参議院の議員の4分の1以上が臨時国会を召集した場合は、内閣は召集を決定しなければならぬと定めている。少数派の意見が国会に反映される趣旨を踏まえ、期限の定めはない。加藤勝信官房長官は今日1日の記者会見で「内閣に変わらぬ」と述べた。

意見書は「憲法に政治的な裁量はない」と述べ、「要求から開会までの合理的期間は「長くても30日以内」が原則」と、天変地異が起きた場合でも「最長で15日以内」に召集を要するとしている。

【左】最高裁判所の判事を経験された方の言葉です。裁判所は、国や行政の言いなりになって、組織や権力から個人の人権を守ろうという、三権分立の一角として「法の番人」という本来の役割を果たしていないということです。しかもそれが嘆かわしい「伝統」として、長く続いているというのです。これでは学校で学ぶ「三権分立」が、絵に描いた餅でしかないことになります。アメリカの故ルース・ベイダー・ギンズバーグさんは、(森は彼女のマグカップをもって教室に入って授業することがあるでしょう。)ジミー・カーターさんという素晴らしい大統領によって指名され、誰に対しても公平な判決に努めら最高判事でした。しかし今のアメリカの最高裁判所判事は、公平な感覚を持たない人たちが共和党の大統領によって任命されている結果として「妊娠中絶に関する女性に人権を認めない判決」をしましたので、アメリカ合衆国も日本も似たり寄ったりで、司法が行政に支配されたままなのかもしれません(泣)。アメリカの大統領も、最高裁判所の判事の任命権がある日本の内閣も、しっかりと人権感覚を持った人を裁判官に任命してほしいと思います。

犬になれなかった裁判官

安倍晴彦

司法官傳統に抗して36年

abe haruhiko

【左】「犬になれなかった裁判官」という書籍の紹介ができてうれしいです。著者である安倍晴彦さんは、三権分立の中での司法の独立をめざし、公正公平な判決をし続けてこられた誇り高い裁判官です。彼は時には国や都道府県という、権力を持った強い人や組織に対しても厳しくて公正な判決をされてきました。学歴も血筋も申し分ないのですが、彼は能力に応じた出世をして、ふさわしい評価をされたことはありません。これが日本の権力構造の醜悪な真実の姿です。「あなた達の将来を守るために」醜い大人の世界の姿を教えておきます。純粋さ=ナイーブな神経ではうまく生きていけないのです。しかし彼のような人間がこそが尊敬に値する立派な人間だと思いませんか。

【上】西日本新聞社はいまだに続く部落差別についての批判的な特集を組んで、一連の部落差別批判の記事を紙面に載せています。この記事はいずれ書籍として販売されると思いますが、西日本新聞の記者たちに敬意を表したいと思います。尚、明治時代になって「解放令」という身分差別を否定する法律が出されたものの、差別がなかなかなくなるので、1922年に「全国水平社」が福岡の松本治一郎さんたちが結成されました。この部分は高校入試でも出題されますので暗記しててください。また、現在2022年の参議院議員の福岡の選挙区で、部落差別のために人生を投じてきた立派な人が立候補されています。西日本新聞を見れば誰だかわかりますよ。

現代が学べる 志成館

育児に冷たい社会

給付少なく親に負担

政策を問う 2021 衆院選

「一面がいつく」 子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。

子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。

子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。子育て支援策は、給付額が少なく、親の負担が大きい。

あなた達は、このページの枠の中の記事を、今のうちからしっかりと頭の中に叩き込んでおくのです。そして将来日本を変えるのです!! そうしないと、もう今のような生活などできるはずもないのです!!

「核ごみ」話せぬ空気

科学は独立し 政府連携を

科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。

科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。科学は独立し、政府連携を。

日本の賃金30年横ばい

OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない

OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。

OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。OECDに劣る、日本の平均賃金は物価水準を考慮して増えない。

国と地方、借金12兆円に

一般会計歳出と税収、国債発行額の推移

国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。

国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。国と地方、借金12兆円に。

コロナ下 潜むいじめ

文科省調査 不登校最多、自殺も

文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。

文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。文科省調査 不登校最多、自殺も。

温暖化でコメうまくなった

麻生氏 北海道で発言

温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。

温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。温暖化でコメうまくなった。麻生氏 北海道で発言。

日本の衰退 想像以上

作家 高村薫さん

日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。

日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。日本の衰退 想像以上。作家 高村薫さん。

トヨタ車検不正 法令、安全最優先で襟正せ

社説 2021年10月10日

トヨタ車検不正 法令、安全最優先で襟正せ。社説 2021年10月10日。トヨタ車検不正 法令、安全最優先で襟正せ。社説 2021年10月10日。

トヨタ車検不正 法令、安全最優先で襟正せ。社説 2021年10月10日。トヨタ車検不正 法令、安全最優先で襟正せ。社説 2021年10月10日。